

福大病院ニュース

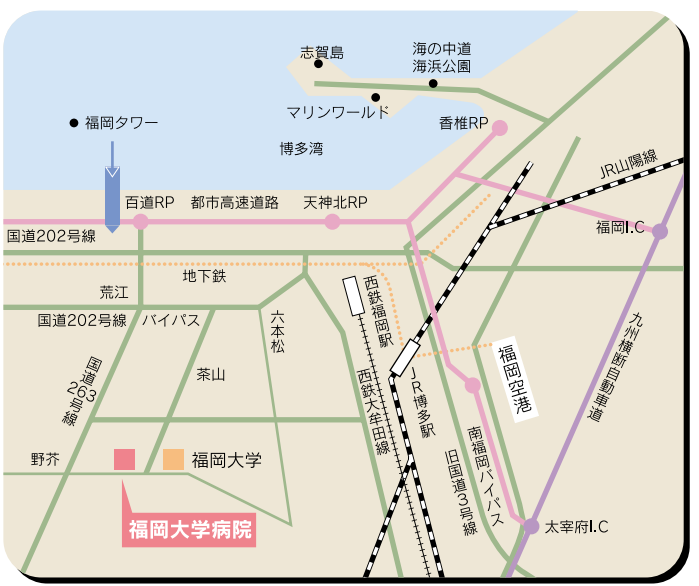
福岡大学病院診療科一覧

	02	03	07	08	09	12	12	13	15	20	18	20	23	24	26	28	31	32	35	38	39	42	43	44	45
診療科名	血液・糖尿病科	消化器科	腎臓内科	循環器科	呼吸器科	神経内科	健康管理科	精神神経科	小児科	小児科	外科第一	外科第二	整形外科	形成外科 形成外科 美容外来	脳神経外科	心血管外科	皮膚科 皮膚科 美容外来	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科・ペインクリニック	歯科口腔外科	リハビリテーション科
診療日	毎日	毎日	月・火・水・木・金	毎日	月・火・水・木・金	毎日	毎日	※予約制	毎日	毎日	月・水・金	火・木・土	毎日	※予約制 月・火・水・木	月・水・金	火・木	毎日	※予約制 月・火・水・木・土	月・水・金	月・水・金	月・火・水・金	月・水・金	月・水・金	毎日	

【診療受付時間】 (休日除く)

※休診日：日曜・祝祭日、盆休(8月15日)、年末・年始(12月29日～1月3日)
 初診：(月～金) 8時20分～14時 (土) 8時20分～11時
 再診：(月～土) 8時20分～11時 ※産婦人科の初・再診受付は8時20分～11時

交通のご案内



天神から
 天神コア前バス停No.7B、あるいはダイエーショッパーズプラザ前バス停No.9で、西鉄バス(西日本鉄道)14番のなかで、福大病院経由又は福大病院を終点とするバスにご乗車ください。(所要時間 約30分)
 ※14番には福大病院を経由しないバスがありますのでご注意ください。

博多駅から
 博多口バス停3番乗り場で西鉄バスあるいは、博多駅交通センター7B乗り場で、114番にご乗車ください。福大病院前で下車してください。(所要時間 約40分)

六本松(九大教養学部前)・別府2丁目バス停から
 前述のNo.14番又はNo.18番の西鉄バスにご乗車ください。福大病院前で下車してください。(所要時間 約15分)

西新から
 脇山口バス停で、西鉄バス95番の福大病院行きバスにご乗車ください。福大病院前で下車してください。(所要時間 約30分)
 ※昼間約40分間隔で運行していますのでご注意ください。

●天神、博多駅および六本松、別府から福大行きの西鉄バスが運行されていますが、福大(本部)と福大病院は、徒歩で15分程度離れています。

病院付近交通ご案内



福岡大学病院

〒814-0180
 福岡市城南区七隈7丁目45-1
 TEL (092)801-1011(代)

URL : <http://www.med.fukuoka-u.ac.jp/hosp/>



福岡大学病院の基本理念 あたたかい医療

- 高度先進医療の指導的病院
- 健康のための情報発信基地
- 地域に開かれた中核的医療センター
- 社会に必要とされる優れた医療人の育成
- 社会のニーズに応える患者中心の医療の提供

■ 患者様の権利について

医療は医療者と患者様との信頼関係で成り立っています。患者様一人一人が医療の中心となり、以下の権利と責任(患者様の権利に関するリスボン宣言)があることを福岡大学病院の職員一同は認識します。

1. 患者様は常に人間としての尊厳と、差別のない安全で最善の医療を受ける権利があります。
2. 患者様は医師や病院あるいは保健サービス施設を自由に選択し変更する権利があります。
3. 患者様は検査や治療について、その目的、もたらされる結果などについて、十分に説明を受け、納得の上で選択あるいは拒否の決定を下す権利があります。
4. 患者様は自分自身に関する情報を開示され、自己の健康状態について十分な情報を得る権利があります。
5. 医療上得られた個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。
6. 患者様は健康について保健教育を受ける権利があり、自分の健康に対する自己責任があります。

福岡大学病院
院長

白日 高歩

年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

冒頭から込み入った内容のご挨拶を申し上げます。

先日医局である若い医師がNew England Journal of Medicineという雑誌からの1編の医学論文を日本語に訳して私たちに発表しました。その内容は、米国、マサチューセッツ州の4つの有名な大病院における約6年間の外科手術で、ガーゼや手術器具の置き忘れ、すなわち体の中に残して再摘出となった異物が61例あったという事実の解析論文でした。しかもこのうちincident report (いわゆる事故報告)として届けられていたのはわずか7例というもので、まさに仰天するような内容の悪さでした。何を申し上げたいかという連日のようにマスコミで報道される日本の医療レベルの低さというのは決して事実ではないということです。識者と称する方たちが常に欧米、中でもアメリカの医療技術の素晴らしさを対比して述べられるのですが、それには多分に実態と異なる誇張があるように思います。日本の医療レベルは低いどころかまさに世界有数であり、10年、20年前に比すると何十倍何百倍とその精度、緻密さは向上しています。我が国の鉄道の発着時間の正確さが世界に喧伝されるように、正確性を求めての医療従事者のたゆまない努力の結果が現れていると思います。病院職員の患者さんに対する接し方も、私のように40年近い職歴を持ったものから見ればまさに隔世の感があり、昔に比べて何倍も何十倍も丁寧で細やかなものとなりました。

それでは何故このように医療事故が連日のように報道されるのでしょうか。わが国の医療制度の特殊性やマスコミの医療事故への接し方にも問題があるように思います。よく言われることですが、人間の手(技術)はどんなに進歩したとしても神の手にはなり得ません。その点を我々医療従事者も非従事者(患者さん)も、謙虚に認識しつつ治療の為の努力を重ねるしかないように思うのです。「治すのが当たり前」というような風潮はある意味で傲慢であり、正しいことと思えません。今日不治と考えられていた実に多くの病気が奇跡のように治療可能な時代となってきました。全ての病気を根絶することは不可能ですが、医療従事者はその可能性に向けて絶え間ない努力を続けているのが実状であります。医師も看護師も技師も事務員も患者さんも含めて、全ての人が互いに謙虚となり病気を治す為努力し続けなければならないように思うのです。

福岡大学病院の医療従事者を代表し、今年も、昨年のご挨拶で紹介した若き日の高浜虚子の句を繰り返してお示しいたします。

「春風に闘志いだきて丘に立つ」

平成16年元旦

継続療養支援
看護師長

市丸 桃江

継続療養支援の紹介

【はじめに】

2003年4月1日、看護部内に継続療養支援の役割が新たに設置されスタート致しました。(図1)

福岡大学病院は高度先進医療の提供、研究開発の使命を持つ特定機能病院として地域の中で重要な役割を担っています。多くの患者様に安心して治療を受けていただいておりますが、患者様の中には、当院を退院後も引き続き治療や療養が必要な方もいらっしゃいます。そのような方々に不安なく療養が

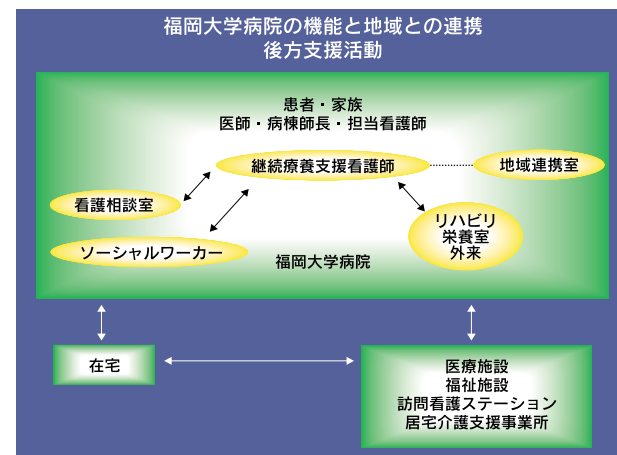


図1 福岡大学病院と地域との連携

継続されるように援助するのが私の役割です。外科・耳鼻科病棟での看護師長の経験を生かし、患者様・家族を中心にしたかかわりを大切に取り組んでいます。(支援活動の概況：図2)

4月から11月まで現在83名の方々の支援をいたしました。20歳代から90歳代までの幅広い年齢層で70歳代以上の方々が全体の61%を占めています。主な疾患は脳血管系疾患、神経系疾患、腎疾患などです。支援内容は、医療施設への転院35名、福祉施設への転院4名、在宅への支援29名などになっております。

転院の支援をする場合は、安心して継続療養が出来ること、患者様の居住地に近いこと、そして患者様やご家族の意向やご希望に沿うことを心がけ、複数の施設を提示できるように努力しています。これまで城南区・早良区・中央区、市外では糸島・朝倉・宗像・筑紫野市の医療施設を紹介しました。福祉施設は老人介護保健施設やグループホームへの入所で市内が中心です。

在宅療養を支援する場合は、在宅医、訪問看護師、ホームヘルパーとの調整が必要です。在宅医の調整は医師が行っていますが、いずれにしても支援を受けられる場合は、患者様家族とお会いし、連携する在宅医、訪問看護師、ホームヘルパーの方々と退院前に話し合いをしております。

役割を果たす中で、患者様や家族の思いや悩みに触れ、役割の難しさと責任の重さを感じております。今後、さらに最善の医療・看護を提供するために当院と地域における機能について、十分時間をかけた説明が出来るように心がけていきたいと思っております。また時として「退院と言われたらどうしたらいいのか不安に思っていました。声をかけていただけて助かった」といった言葉で胸をなでおろすこともあります。そうした状況であります、症状に応じた適切な医療を受けていただくためにも継続療養支援の役割は大きいと思っております。

今年10月に福岡県保健医療・福祉職員海外派遣研修事業に参加し、オランダ、スウェーデン、ドイツの福祉先進国へ行く機会を得ました。制度上の違いは勿論有りますが、大学病院での平均在院日数は7日と短くなっていました。病院以外にもリハビリ専門、福祉施設、在宅で訪問看護師・ヘルパーの支援体制などの状況を視察してまいりました。3ヶ国の良い面を学び、日本の良い面を今回の研修で改めて感じた研修でした。

【今後の活動にむけて】

新年度より地域医療連携室として機能が拡大し稼働いたします。継続療養支援は、その中の1つの役割として、より一層の活動が出来るように努力したいと思っております。新年度より新たに開始する活動は、受診していただく紹介患者様に不安なく、安心して来院していただけるような、また手続きに時間を要することなく診察が出来るような内容で準備を進めています。開始します折には事前に何らかの方法を用いてお知らせしたいと思っております。

初診の受付時間に変更になりました。

初診の受付は8時20分から11時までが受付時間でしたが、15年11月より月曜日から金曜日は14時まで受付できるようになりました。(ただし産婦人科の初診受付は、従来どおり11時までです。)

1. 受付時間について

受付時間は、下記の通りです。

初診(月～金) 8時20分～14時 (土) 8時20分～11時

再診(月～土) 8時20分～11時

※産婦人科の初診・再診受付は、8時20分～11時です。

ただし、予約の場合や午後専門外来はこの限りではありません。

受診科によっては診療日が決まっていますので、裏面の福大病院診療科一覧を参考の上、ご来院ください。

診療に関する問合せは、事前に電話にて受診科へお尋ねください。